

季刊 青葉の森から

冬
第15号

2010年1月10日発行

みんなのギャラリー

みなさんからの作品をお待ちしています。



ただいま冬眠中

近野 伊亮さん

新年あけましておめでとうございます

古くは寅（とら）と言う字は、草木が伸び始める状態を表したものだそうです。連日報道される殺伐とした話題や悲しい事件に、出口の見えない混沌とした時間の長さを感じた昨年でした。

寅年の今年こそは、萌出る季節が訪れ、重く暗い時間から抜け出す出発点になって欲しいと思います。青葉の森では雑木林の木々の芽が膨らみ始め、春の気配を感じ取っているようです。本年も散策にいらした皆さまが良い時間をお過ごしただけよう努めてまいります。（半澤）



森を体感！「紅葉の森を歩こう」

11月15日



雨が上がり、虹が出てすがすがしい朝でした。空気が洗われて森がキレイに見えるんじゃないかと期待が膨らみます。今回は、普段のイベントよりも早い9時集合。朝のひんやりした透明な空気を感じながら、準備運動をして、足取り軽やかに張り切ってスタートです。

紅葉は後半にさしかかかっていて、さらに前日の雨も加わって、落葉が目立っていました。けれどその分、奥の方にあるカエデまで見通すことができました。ハウチハカエデはやさしく朱色に染まっていて、しとやかな日本の秋を感じさせてくれました。また、ムラサキシキブは透けるように、タカノツメは黄色い手帳のように森を彩っていました。



葉っぱこうなって、...(-.-)zzz

休憩中、紅葉のしくみについてスケッチブックを使って勉強しました。

葉っぱはもともと黄色

の色素を持っていますが、春から夏の間は光合成にかかせない緑の葉緑素が多く隠れて見えません。秋、緑の葉緑素がおつとめご苦労様でしたと分解されはじめると、緑色が薄くなって黄色が表に見えるようになります。そんな中、葉っぱに糖分がたまり赤い色素が作られると赤くなります。

この赤い色素のでき具合によって、同じ木の葉っぱでも黄色かったり赤かったり、色づきが変わってくるということです。ちなみに、コナラなどは茶色の

緑の葉緑素「クロロフィル」が分解されていく



黄の色素「カロチノイド」が表に現れてくる



光合成によって、葉に養分（糖やアミノ酸）がたまる



赤の色素「アントシアニン」が作られる



モミジ、カエデ

色素が作られるので赤くなりません。今度は、紅葉を眺めるだけでなく、落ち葉を拾いながら歩きます。色のキレイなものから虫食いのものでいろいろな落ち葉を拾いました。ある程度集まったら、拾った落ち葉でいざ勝負。落ち葉を使ったジャンケン大会。お題にふさわしい葉っぱ一枚選んで「いっせーのせ」で見せ合います。中にはズルをするおばさんがいて、でも結局、それを見逃さない子供たちに負けてしまって。悪いことはしちゃいけないねえと教訓じみたりして。なんていう具合に、大人も子供もみんな楽しんでみました。



赤い葉っぱ！いっせーのせ！！

長い階段を下りて行くと、化石の森の滝に着きます。この場所は予定にはありませんでしたが、参加者のみなさん健脚であつという間に到着しました。川の両側に落ち葉が敷かれていい雰囲気。けれど、帰りは大変、散策路の都合上行きよりも長い上りが待っています。

帰り道には、動物の食痕を見つけたり、ツクバネの種を飛ばしたりして、歩いて遊んで2時間半、みなさん楽しんでいただけたかしら。いろんな発見や感動でイベントを盛り上げてくれた子供たちに感謝しつつ、これからも楽しいイベントを作っていけるようスタッフ一同頑張ります。



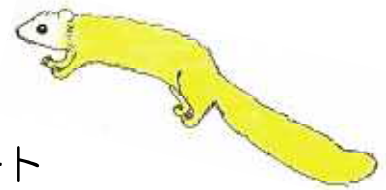
化石あるかしら？



居るだけで楽しい秋の散歩道



テンを探して森をさすらう

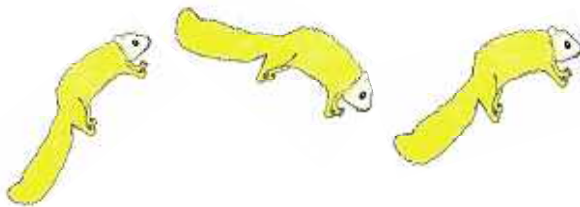


青葉の森マイ・フィールド・ノート

田澤 晋太

12月7日、早朝の森を歩く。木の葉がすっかり落ちて、谷をはさんで向かいの山の斜面がむき出しになっている。鳥の姿もケモノの姿もよく見えるだろう。また冬がやってきた。

3月の末、この谷川ぞいの道で、テンに出合った。青葉の森にいたとは聞いていたが、生まれてはじめて見るようになったテンは、黄金色のケモノ、といえ大げさかもしれないが、はっと目のさめるような黄色の毛並みの胴体と、それと同じくらいの長さのやはり黄色く太いしっぽ、そして白い頭とクリクリした黒いひとみを持っていた。テンは沢をはさんで向かいの斜面を音もなくするりするりと下りてきたかとおもうと、僕が歩いていた小道の先にひょっこりと顔を出し、しゃくとり虫のように体全体をしなやかにうねらせて道を横切り、僕のほうをチラリと見てから姿を消した。



それから、またテンが見たくて毎朝森に入るようになった。沢ぞいの小道は見通しがよかったのに、イワウチワが咲き、カタクリが咲いて、桜が咲いて散ると、あっというまに草が生えて若葉が芽吹いてジャングルみたいになり、テンに限らずケモノや鳥の姿を見ることは難しくなった。

9月7日、管理センター近くの車が通る道のはしっこにおもしろいものが落ちていた。緑色のフンである。フンは大人の小指くらいの大きさで、緑色の植物の繊維のなかに、ゴマ粒ほどの小さな種がたくさん含まれていた。緑色のフンのなぞはすぐに解けた。フンが落ちているすぐ真上に、道路わきの手すりにおおいかぶさるようにして、サルナシの木が茶色いツルと濃い緑色の葉っぱをしげらせていたからである。サルナシ



サルナシの実
おいしいかな？

の実には大人の親指のさきほどの大きさで、緑色の皮に少し赤みがさしてリンゴのような色合いになっていた。口に含んでみるとまず甘み、そのあとすっぱい味が口の中に広がって、キウイとそっくりの味だった。テンのものだろうか。現場を見ていない僕には本当のところはわからないのだが、僕の頭の中のスクリーンには、昨夜、サルナシの実に思う存分むしゃぶりつくテンの姿が映し出されていた。

実りの秋はまたたくまに過ぎ、また冬がやってきた。この冬またテンと出会うことができるだろうか。テンだけではなく、青葉の森には魅力的なケモノたちがたくさんいる。それに気がついたのもテンのおかげである。ケモノたちとの出会いを期待して、今日も僕は森の中をほっつき歩くのであった。



親子でワクワク「森とあそぼう！！」

毎月第2土曜日 (1/9, 2/13, 3/13)

午前10時～11時30分 集合場所：青葉の森 管理センター

子供と保護者とで一緒に自然に親しみます。

冬の青葉の森を楽しみましょう。

申し込みについては、インターネットまたは“市政だより”をご覧ください
社のひろば <http://www.sendai-park.or.jp>



青葉の森瓦版



アオゲラ危機一髪

10月20日、管理センターの北側の窓にアオゲラ(キツツキの仲間)がぶつかり倒れていました。脳しんとうを起こしたのでしょうか。ペットボトルの湯たんぽと一緒にダンボールに入れて休ませたところ、1時間ほどですっかり元気になり、写真を撮る間もなく飛び立ってゆきました。

インターネット公開始まる

11月9日、「青葉の森から」がインターネットでも見られるようになりました。下のURLか杜のひろばで検索してご覧ください。インターネットではオールカラーで写真もきれいに見えます。

杜のひろば

<http://www.sendai-park.or.jp/>

わんぱく広場に毒草発見

10月27日、わんぱく広場を見回っていると、見たことのない青黒い実を見つけました。ちょっと味見してみたら甘いトマトのようで美味しい。しかし、北米原産のアメリカイヌホオズキという毒草でした。立花はみごとに不調になりました。良い子のみんなはマネしないでね。

落ち葉プールがオープン

12月、今年も管理センターのホールに落ち葉のプールがオープンしました。ふかふかの落ち葉のベッド上に寝ると気持ちいいよ。大人も子供も思いっきり寝転んで遊んで下さい。

アナグマのあなほり

11月、アナグマが地面をほってミミズ(か他の何か)を探したと思われる小さな穴が管理センターの周りにいっぱいできました。

美味しい食事にありつけたでしょうか。



一番町に青葉の森

12月、一番町のKurax(クラックス)の4FのColumbiaショップに青葉の森のパンフレットを置いていただきました。アウトドアアイテムをお探しのときは足を運んでみてください。

冬鳥ぞくぞく来園

10月20日にジョウビタキの声をきいてから、カシラダカ、シロハラ、ヒガラ、コガラ、キクイタダキなど、冬鳥たちがぞくぞくとやって来ています。管理センター前の餌台もオープンしました。カラ類を近くで楽しむことができます。

森のひとこま

落ち葉をかきかきしてみたものの



下が道路だったためフンが汚れとなって目立ってしまいました(>_<)土だったらそんなことは無いの
でしょう。そのうちに雨がキレイに掃除してくれました。自然にはお世話になりっぱなしです。

これからのイベントのお知らせ



森を体感「冬の楽しみ方教えます」

1月16日(土) 午前10時~11時30分
冬の森にも楽しみがいっぱいあります

もうすぐお彼岸「削り花をつくろう！」

2月21日(日) 午前10時~14時30分
伝統の削り花を作って先人の文化を学びます



森を体感「セリバオウレンのお花畑に出かけよう！」

3月28日(日) 午前10時~11時30分
星をちりばめたようなお花畑をご一緒しましょう

申し込みについてはインターネットまたは“市政だより”をご覧ください
社のひろば：<http://www.sendai-park.or.jp/>



もうすぐクリスマス ファイバーアートでとっておきのキャンドル

2009年12月13日イベント

青葉の森から、手作りで心あたたまるクリスマスをご提案ということで、勾当台公園にあるグリーンハウス勾当台の加藤氏を講師に招き、自然の素材を使ったキャンドルスタンドを製作しました。

小学生以上のお子さんご家族25名様に参加していただき、想像力を膨らませて、楽しい作品を作



わかりやすく丁寧な説明の加藤先生

っていました。キャンドルスタンドは、台座となるスライスした木に、葉脈標本や木の実をのせて飾り付けをしていきます。オオハンゴンソウの花の頭なんかも使

寒かったけど、木の実などの素材集めに森の中を歩きました。せっかく青葉の森に来たのですから、やっぱり散策路も歩いてほしいです。ほどなく、スギの実やクルミが見つかりました。ドングリのかさもありません。あつという間に使いきれないほどの収穫に。そして、いよいよ製作です。

葉脈標本や木の実をボンドで固定して形づくりします。親子で相談しながら、あふれるアイデアを次々と形にしていきます。

できあがった作品は、どれも個性的で魅力あるものとなりました。親も子も一緒に楽しんで作っていただいたということなのかなと思います。



自慢の作品を持ってメリークリスマス!

葉脈標本とは、葉っぱから緑色のお肉の部分を取り除いて、葉っぱのすじ(脈)だけが残った状態にしたものです。あらかじめ用意しておいた葉脈標本を

使うだけでなく、葉脈標本作りを体験していただいたところ、葉っぱからお肉がはがれるのが楽しくて、皆さんはまってしまった様子でした。



歯ブラシでトントン

みなさまのクリスマスがとっても素敵な一日になりますようにお祈りいたします。ご参加いただいた皆様、ご指導いただいた加藤先生どうもありがとうございました。

みんなの作品紹介



ネコじゃらしがいい感じ



松ぼっくりの雪だるまカワイイ



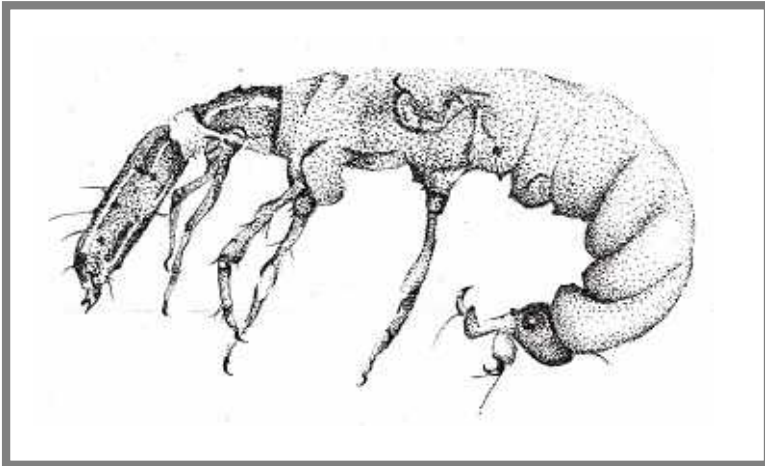
枝の組み方がみごと



セミ!!ワイルド!!

青葉の森アートギャラリー

宮教大の学生がイラストを寄せてくれました



「トビケラ」 中野 希さん

素敵な絵をありがとうございました。
ホールに展示させていただきます。

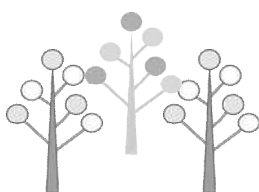


「蝶」 藤巻 義也さん



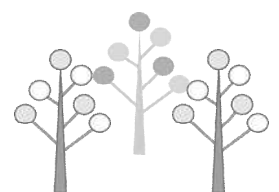
管理センターでは、面白い形をした落ち葉を集めた落ち葉展を開催中

森を歩くとハートの形や顔にしか見えないものなど、いろいろな形をした落ち葉が見つかります。
一言添えるとさらにイメージが広がって、とっても楽しくなりました。



団体利用のご案内

青葉の森で里山歩きを楽しみませんか



お友達同士で、サークルや地域のイベントで、四季折々の自然を感じながら青葉の森を散策しませんか。青葉の森のレンジャーが森をご案内いたします(最大40名様まで)。参加される方の年齢および趣向等に応じた散策コースやガイドプランを提案させていただきます。また、学校の環境教育、野外活動に関する授業のお手伝いもいたします。お気軽にご相談ください。



今年も青葉の森をよろしくお願ひします。



こずえを吹き抜ける風の音の中から、小さな鈴が降り落ちてくるようなヒガラやキクイタダキの鳴き声が聞こえてきます。茂みの向こうからは「ヒッ...ヒッ...」とルリビタキの鳴き声も聞こえてきます。寒い時期は外に出るのがおっくうになるかもしれませんが、思い切って出かけてみると、冬には冬の楽しさが見つかります。散策しているときに寒かったりちょっと疲れた時には、管理センターにお立ち寄りください。暖かくしてお待ちしています。半澤

また新たな年を迎えました。今年こそは、青葉の森の恩恵を受けて健康づくり(メタボ対策)をしたいと思います。みなさまも健康のため一緒に山歩きを楽しみましょう。石川



青葉の森にお世話になって 2 年目の冬を迎えました。冬の森は訪れる人も少な吹く風は肌に冷たいですが、太陽が顔をのぞかせる日は森の中まで陽が差し込んで、歩く人の気持ちまで明るくしてくれます。そんな冬の森へお越しください。佐藤

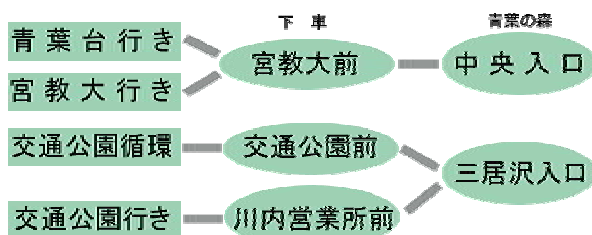
青葉の森も新年を迎え、虫たちも冬の眠りについたようです。市街地に近く、自然豊かな森をみなさまに楽しんでいただけるよう家族向けにイベントを催しております。散策を楽しみ、開放感を堪能していただければ幸いに思います。動物や鳥たちもご来園お待ちしております。井上



初めての冬、寒さに負けず頑張っていますと言いたいところですが、毎日冬眠できそうな穴を探して歩いています。去年はたくさんのおみなさまにお会いし大変お世話になりました。今年もまたよろしくお願ひいたします。立花

青葉の森緑地への交通の便

市営バス 仙台駅西口ターミナル



発行:(財)仙台市公園緑地協会 企画・編集:仙台市青葉の森緑地 管理センター

開館時間: 9:00~16:30

休館日: 毎週月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始(12月28日~1月4日)

〒980 0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 260 :022 263 2101 Fax:022 263 2102

http://www.sendai-park.or.jp/web/guide/info_aoba.html (お知らせをクリックするとイベント情報がご覧になれます)